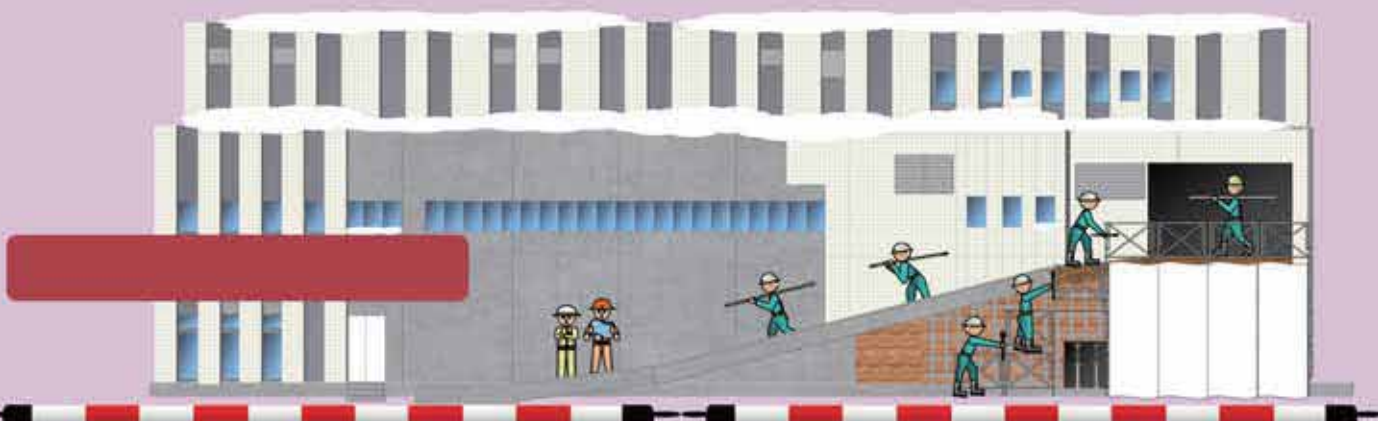


砂川市立病院 **安全+第一** 2010 1月～2月
改築工事予定表

現在の工事や、今後行う工事の内容をお知らせします。

各階内装 工事



工事の進捗状況は【市立病院改築推進課ホームページ】でもご案内しています。

お気づきの点がありましたら

砂川市立病院改築工事 **現場事務所 55-3471** へご連絡ください。

※この工程は、工事の進捗状況により変更になる場合があります。



シリーズ

院内エキスパート⑤

認定薬剤師



薬剤長 上野 英文

病院での薬剤師業務はここ数年間で様変わりしています。前回のひまわりでもご紹介しましたが、現在の病院薬剤師は治療に関わる医療者の一員として、より専門的な知識が求められるようになります。薬剤部では様々な資格を取得し業務に活用しています。また、今後も業務に必要な資格について取得の準備をしている予定です。

今回、下記の三種類の資格についてご紹介いたします。



漢方薬・生薬認定薬剤師

漢方薬は東洋医学の一部で、その基本は人が持っている病気を治す力(自然治癒力)を高めることです。また、患者さん個人の体質や病態を重視し最適な漢方薬を使い分けるため、「オーダーメイド」の治療であるといえます。そのため同じ疾患の患者さんでも体質によって処方される薬が異なったり、一つの漢方薬が様々な疾患に使用されます。漢方薬と聞いてイメージするものは安全、効果が緩和などを思い浮かべる方が多いと思います。しかし、西洋薬同様に副作用もあり、また飲み合わせに注意すべき場合もあります。

近年、漢方薬の科学的な研究も進み、その有効性が証明され、当院でも取り扱う漢方薬が以前より豊富になりました。今後は、西洋薬に併せて漢方薬を上手に使用し、お互いの長所を生かした治療(統合医療)がより進むと思えます。その中で微力ながら砂川の医療に貢献できたらと考えています。



漢方薬・生薬認定薬剤師
 しんざき ゆうま
 新崎 祐馬

がん薬物療法認定薬剤師



がん薬物療法認定薬剤師
 さとう あや
 佐藤 綾

がんは日本で死亡原因の第一位を占め、ほぼ三人に一人ががんで亡くなっています。そのため国は、全国各地でもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図っており、そのために誕生した薬剤師が「がん薬物療法認定薬剤師」です。

院内では抗がん剤の調製、治療内容の監査、患者さんに治療スケジュールや副作用症状の説明、副作用症状の確認と対策など、様々な活動を行っています。皆さんに安心して治療を受けていただけるよう、今後も知識・技術の習得、向上を目指していきたいと思えます。

感染制御認定薬剤師

感染制御認定薬剤師の主な役割としては、薬剤師の目線で、消毒剤・抗菌薬の適正使用を推進し、また、抗菌薬の血中濃度を測定することで効果的な使用方法の提案を行い、感染症治療の支援を行います。

抗菌薬は、自分以外の「環境」にも働きかけてしまう薬剤なので、漠然と使用すると、耐性菌が発現し、いざという時に効かなくなってしまうます。近頃、新型インフルエンザが話題になっているように、菌の動向も変化し、それに対する消毒薬、抗菌薬も変化していきます。最新の情報を入力し、それが有効に活用できるように取り組んでいきたいと思えます。



感染制御認定薬剤師
 つばた こうじ
 坪田 晃司